



学校教育目標

〈次代を力強く生き抜く知徳体の調和のとれた生徒の育成〉

- 自ら学び、考え、創造する生徒（知）
- 礼儀正しく、思いやりのある生徒（徳）
- 心身ともにたくましく、健康な生徒（体）

めざす学校像

- 『御滝中生でよかった』（生徒）
- 『我が子を通わせたい』（保護者）
- 『地域の誇り』（地域）

学校経営の3本柱

確かな学力

- ・授業と家庭学習の連動
- ・基礎基本の徹底と主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善
- ・学習環境整備と授業規律の確立
- ・ICT機器の積極的で有効な活用
- ・デジタルシチズンシップの推進
- ・自ら課題を見出し、自ら考え、仲間と議論し、最適解を導き出す思考力の育成

豊かな心

- ・気持ちよい挨拶ができる学校
- ・学校、学年、学級における心理的安全性の向上
- ・自己肯定感や自己有用感の醸成
- ・特別支援、ジェンダー、外国にルーツを持つなど、多様性を受け入れ認め合う態度の育成
- ・道徳的実践力・人権意識の向上

夢の実現

- ・話し合い活動、体験活動の充実
- ・キャリア教育の推進
- ・異学年交流の推進
- ・レジリエンスの向上
- ・部活動を通しての自主性、協調性、責任感、連帯感などの育成
- ・一人一人の良さや考えを生かした行事の創造

地域とともに

伝統校のさらなる躍進 ～地域の皆様とともに～

コミュニティスクール導入（『滝中つばさプロジェクト』 つながり 場をともにし 支え合う）

町を構成する児童・生徒・学生、子育て中の親、仕事現役世代、高齢者、教職員をつなぎ、学校を核としながら子どもを通してともにふれあひながら学び、それが豊かな町づくりにつながるよう努める

大切にしたいEOG

Engagement（自分事として） Control（コントロール可能） Challenge（やりがいがある）

成果検証のための指標

○学校全体として 『心理的安全性』の構築 ～学校を豊かな学びの場とするために～

- ☆失敗するとからかわれたりせめられたりすることがある⇒「ある」をゼロに（R4 12.9%）
- ☆良くないことや問題点なども話し合うことが出来る⇒「出来る」を100%に（R4 69.9%）
- ☆変わった考えや行動をする人を受け入れない雰囲気がある⇒「ある」をゼロに（R4 23.1%）
- ☆クラスに自分をだますような人はいない⇒「いない」を100%に（R4 82%）
- ☆困ったときやつらいときに「助けてほしい」と言いやすい⇒「言いやすい」を100%に（R4 67.9%）
- ☆クラスの一員としてクラスに役立っている⇒「役立っている」を100%に（R4 59.4%）

○学習指導部

☆学んだことが生かされている⇒57.7% ☆総合で課題を立て情報を集め整理する⇒69.7%

○生活指導部

☆学校に行くのは楽しいと思いますか⇒87%
☆困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか⇒65%

○特別活動指導部

☆将来の夢や目標を持っている⇒59.2%
☆学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか⇒70.4%

○管理部

☆清潔で整備された学校⇒77% ☆安心・安全な環境⇒91%

○コミュニティスクール

☆将来この町に住みたいですか⇒（R4 58.6%）
☆将来この町に住んでいると思いますか⇒（R4 33.3%）
☆地域ボランティア活動に参加したことがある⇒31.4%
☆地域や社会をよくするための何をすべきか考えたことがある⇒31.4%